

とが大切となる。みんなから応援される事業を目指すことが何よりも大事である。

◆何をやらないかを見定める

いざ始めるとやることはたくさんある。その為、知らず知らずのうちに目的が見えなくなったり、忙しさに翻弄されて体調を崩すことも多い。持続可能な事業として継続的に取り組むには、すべてに全力投球するのではなく、選択と集中が大切である。

◆利益を上げることは悪ではない

地域では地域住民が利益を上げることに對してネガティブな評価をすることがある。しかし、まっとうな仕事をして利益を上げることは至極当然のことであり、利益は将来への投資の原資と考えられ、事業継続大切な柱となるのである！

◆まずは実践・チャレンジが大切

迷いや心配があってもまずは実践が大事。考えて行動することも大事だが、行動しながら考えることも大事。実践している中で見えてくるものも沢山ある。

◆成功・失敗について考え込む必要はない

事業にチャレンジするにあたっては、成功、失敗を考えるのはあまり意味がない。成功も、失敗も本来は周りの第三者が決めることではなく、自分が決めること。あきらめずに続ければ失敗とはいえない。

◆その道のプロとしての自覚を持つ

事業として取り組むからにはプロとしての自覚が非常に重要となる。各種サービスを提供し感謝や対価を得るということはそこに全ての責任を持つということにもなる。

◆譲れない思いを大切に

利益か想いのどちらを優先するのか悩んだ時には、譲れない思いをまずは大切にすること。そこには事業収益以上に譲れない思いがあることが社会貢献事業の核となる、それを忘れてはいけない。

◆受けた恩は必ず返す

我々の事業の多くは、ボランティアなど非金銭的な協力や関係が内在する。たとえ金銭的な対価を支払えないとしても、必ず何かしらのお返しはする様にする。

恩を受け続けているばかりでは持続的な関係

を構築できず、関わる多くの人がそれぞれにメリットを享受できるような配慮が必要不可欠であり、そこで信頼関係が構築できる。

◆楽しくなければ社会貢献活動ではない

我々の地域貢献活動が最終的に輝き、持続可能で、且つ皆さんに喜んで戴き、評価されることが勿論であるが、何と云っても『実際に活動している我々自身が楽しく、元気で、やりがいのある活動』でない限り絶対続かないのです！

やはり最終最後は【楽しくなければ社会貢献活動ではない！】と言い切る！

としまNPO推進協議会 代表理事 柳田好史

7/13 例会スナップ



Rotary Weekly Report 3013回 第3回例会 2023.7/20 Rotary Club of Tokyo Ikebukuro Toshima-East

RI2023-2024年度テーマ 四つのテスト 1・真実か どうか 2・みんなに公平か 3・好意と友情を深めるか 4・みんなのためになるか どうか

禅語 担雪填井(ゆきをになつてせいをうすむ) 井戸を雪で埋めようとするような無駄な仕事をすることをいいます。

本日の例会

7月20日(木) 12:30~13:30 卓話(会員スピーチ)

次回の例会

8月3日(木) 12:30~13:30 ガナバー公式訪問

7月13日 例会報告

司会 宮部会員 開会点鐘 里見会長 シャボン玉・ロータリーソング ソングリーダー 有我会員



7/13 例会 卓話者 柳田好史様

☆会員総数 36名 ☆出席規定適用者数 28名 ★本日の出席者総数 26名 ★" 免除者出席数 5名 ★本日の出席率 81.25% ☆本日のゲスト 柳田好史様 卓話者/ NPO法人としまNPO推進協議会 代表理事 山崎帆洋様 東京池袋豊島東ローターアクトクラブ

ニコニコ

鈴木会員 社会奉仕のベテランで私の尊敬する柳田好史様に卓話を頂くとの事に感謝。どうぞよろしくお願い申し上げます。

長尾会員 先週いただいた26年記念のロータリーバッチを忘れました。大変立派なロータリーバッチなのに申し訳ございません。鈴木さんにお借りしました。ありがとうございます。

山崎RAC会員 いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

本日の合計額：9,000円
今年度ニコニコ累計額：94,000円

会長報告

1. 本日の卓話

本日は柳田好史様に卓話をいただく。前回例会で鈴木社会奉仕委員長から方針が示されたが、1992年の「社会奉仕に関する声明」の考え方に沿い鈴木委員長の方針に従って活動する上で、示唆をいただける。

2. 週報

少し体裁を変えた。小泉前会長執筆の「禅語」は終わるが、次のシリーズとして「珠玉の言葉」を連載いただく。

幹事報告

1. ロースター配布

2. 活動計画書修正につきまして

P13 友好クラブ → シールにて対応 (メールボックスへ配布済)

P41 RAC概要 → A4挟み込み済

3. 寄付金の意向伺い書について (補足説明)

寄付金は各会員の自由意志によるものを大前提として新年度クラブ会費請求時に併せてご寄付いただける会員の意向伺い書を今週中にお配りする。

なお、意向書以降の期中でも寄付の受付は可能であるのでその際は事務局に申し出ていただきたい。

7月13日 卓話報告

「とN協とは何者？利益以外の何を求める？」
～地域課題解決の主役は誰だ？地域課題に社会貢献事業が求められる訳？～

東京池袋豊島東ロータリークラブ卓話資料 【令和5年7月11日】

ABOUT としまNPO推進協議会(中間支援組織)の目的

- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する

ABOUT 講師 柳田好史

「社会奉仕」の原点を語る

ABOUT ステージ1：柳田が解決して来た地域課題

- 地域課題の解決に貢献する
- 地域課題の解決に貢献する
- 地域課題の解決に貢献する

ABOUT ステージ2：中間支援組織「としまNPO推進協議会」の発展、みんなのえんがわ池袋

- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する

ABOUT ステージ3：CB、SBの指導者さまスタート、社会貢献事業創成推進サロスタート！

- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する

ABOUT メッセージ「だから、やるんです！」

- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する
- 社会課題の解決に貢献する

ABOUT これからの時代 社会貢献事業(SB)の必要性

ORGANIZATION ビーター・ドラッガーの名言

1. 必ずしも成功しないが、失敗は成功の母である。
2. 成功は、失敗を繰り返すことによって得られる。
3. 成功は、失敗を繰り返すことによって得られる。
4. 成功は、失敗を繰り返すことによって得られる。

ORGANIZATION 経営者には、社会貢献を自分ごとにする考え方が求められている

DATA ソーシャルビジネスの7原則

1. 社会課題の解決に貢献する
2. 社会課題の解決に貢献する
3. 社会課題の解決に貢献する
4. 社会課題の解決に貢献する
5. 社会課題の解決に貢献する
6. 社会課題の解決に貢献する
7. 社会課題の解決に貢献する

DATA コミュニティビジネス (CB) とソーシャルビジネス (SB) とは？

DATA ソーシャルビジネスが目される理由

DATA ソーシャルビジネス (SB) とCSRとSDGs

DATA ソーシャルビジネス [SB] 実践者たちの好事例

DATA [事例] 地域課題解決を目指したコミュニティビジネス的要素の強いSB事業

DATA ①目的：どの社会課題を解決しているか？

ひきこもり 146万人

DATA ①目的：どの社会課題を解決しているか？

経済格差追求、不安な雇用環境、自己責任の誤解、人との繋がりの欠如

DATA ①目的：どの社会課題を解決しているか？

きっかけは友人の「ひきこもり」

DATA ②方法：ビジネスの方法論

ひきこもりでも希望を持ってチャレンジできる未来を作る

DATA ②方法：ビジネスの方法論

個人から依頼を受けた案件に対して、得意を分け分けしCOMOLYの得意な「プロフェッショナル」が対応する

DATA ②方法：ビジネスの方法論

登録者数 1200名

DATA ②方法：ビジネスの方法論

2023年12月までの在宅ワーク提供件数 550件

DATA ③結果：社会がどう変革しているか？

個人が変わる「困窮への機会」をつくっていく

DATA ③結果：社会がどう変革しているか？

「誰ひとり取り残さない社会」を築いていく

DATA 今後のソーシャルビジネスの目指す方向性

STEP 成功のポイント

- 1. 社会課題の解決に貢献する
- 2. 社会課題の解決に貢献する
- 3. 社会課題の解決に貢献する

社会貢献事業を是非応募してください

STEP 最後に皆様へのメッセージ

- 1. 社会課題の解決に貢献する
- 2. 社会課題の解決に貢献する
- 3. 社会課題の解決に貢献する

INDEX リーダーの意思決定は重要である

広がれ社会貢献の輪

Expand Social Business!

TNPC Tushima NPO Promotive Conference

ご賛助ありがとうございます。

070-6646-9197

en@toshima-npo.org

参考資料

地域貢献活動と組織を持続可能にするポイントはこれだ・・・！

◆「自分がやる」という覚悟と自覚を立てることから始まる

まずは何よりも人任せにするのではなく、自分自身が最後までやり遂げるという覚悟と意思が大切。状況が悪いとか誰が悪い、どこが悪いと周りや環境のせいにして自分で自分が主体的に動くことがすべての始まりになる。

◆現場で汗をかき、活動を通して信頼関係を作る
口先だけで綺麗な言葉を並べるのではなく、やはり現場で地域の人々と一緒に汗をかきながら同じ時間と空間、苦勞を共有することから信頼関係が生まれる。

◆想いを形にする小さな成功体験をコツコツ積み上げる

社会貢献事業としての成果はすぐに表れるものではない。一つ一つの小さな成功体験を地道に積み上げ、実践者はもちろん、その周りにいる地域住民や応援したいと思っている人も自信を持って関わることが出来る関わる人の想いを形にするマネジメント必要である。

◆大きな事業モデルを考えるのではなく、目の前の小さなことを丁寧にやる

大言壮語なことを掲げるのではなく、まずは目の前の一つ一つの課題の解決を丁寧にやる